

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書

【 訓練期間 平成28年12月5日（月）

～平成28年12月16日（金） 】

平成29年3月

苫 小 牧 市

目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績	1
米軍再編に係る各基地の訓練移転経過	2
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	6
千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について （平成28年11月14日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	8
米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について （平成28年11月28日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	12
地域への訓練計画概要の説明資料について	16
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 米軍ブリーフィング・北海道防衛局による説明会関係	18
千歳基地への訓練移転実施内容（結果）について	39
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について	40
訓練移転に伴う騒音測定結果について（平成28年12月実施）	41
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会（訓練検証）の結果	53
苫小牧市の検証結果について	56

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績

訓練月日	参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1	H20. 2. 25～H20. 2. 28 海兵第12飛行大隊に所属する 派遣海軍部隊（岩国）	タイプ I 訓練 F A-18×4機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2 回	なし
2	H20. 12. 8～H20. 12. 12 第18航空団（嘉手納）	タイプ I 訓練 F-15×5機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5 回	あり
3	H21. 4. 20～H21. 4. 23 米海兵第12飛行大隊（岩国）	タイプ I 訓練 F A-18×5機 人員 32名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	1 回	あり
4	H22. 11. 8～H22. 11. 19 第18航空団（嘉手納）	タイプ II 訓練 F-15×12機 人員 約170名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	9 回	あり
5	H24. 9. 5～H24. 9. 7 第12海兵航空群（岩国）	タイプ I 訓練 F A-18×4機 人員 約20名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5 回	あり
6	H25. 7. 8～H25. 7. 12 第35戦闘航空団（三沢）	タイプ II 訓練 F-16×6機 人員 約80名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	8 回	あり
7	H28. 1. 12～H28. 1. 22 第12海兵航空群（岩国）	タイプ II 訓練 F A-18×5機 人員 約70名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	10 回	あり
8	H28. 12. 5～H28. 12. 16 第12海兵航空群（岩国）	タイプ II 訓練 A V-8B×4機 人員 約90名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	9 回	あり

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加)：1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加)：3回程度				H19.1.11通知、3月を目途とし回数 の明記はないが1回と思われる	
	築 城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の 連絡会議	
	計	築 城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣	
19	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加)：1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加)：3回程度				H19.1.31通知	
	小 松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行 われていない。
	築 城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無	
	三 沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行 われていない
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣	
	百 里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣	
	小 松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15事故調査のため中止
	百 里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無	
	千 歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三 沢:3回 岩 国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣	
20	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加)：1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加)：併せて1.0回程度				H20.6.20通知	
	三 沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行 われていない。
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無	
	小 松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無	
	千 歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無	
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三 沢:1回 岩 国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣	
21	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加)：1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加)：3回程度				H21.1.28通知	
	千 歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣	
	三 沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行 われていない。
	百 里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は 全て中止。テスト飛行1回のみ。
	小 松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行 われていない。
	百 里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行 われていない。
	三 沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28、3/6・7の土日の訓練は行 われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
	築 城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行 われていない。
	計	千 歳:1回 小 松:2回 三 沢:2回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:0回 計:8回		I:3回 Ⅱ:4回	三 沢:2回 岩 国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣	
22	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) タイプⅠ・Ⅱあわせて1.5回程度				H22.1.29通知	
	小 松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行 われていない。
	三 沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	千 歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。
	小 松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実 施されたため土日の訓練有り。
	計	千 歳:1回 小 松:2回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 Ⅱ:4回	三 沢:1回 岩 国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無		
	計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し		
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H25.1.29(火)～2.15(金)	F15×12機 約260人	グアム	嘉手納	無		
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣			
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F16×12機 約260人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F15×18機 約420人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知	
	三 沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射撃訓練に参加。	
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	Ⅱ	嘉手納	無		
	小 松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	Ⅱ	三沢	無		
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
百 里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	Ⅱ	岩国	無			
計	千歳:0回 三沢:1回 百里:1回 グアム:6回 小松:1回 築城:0回 新田原:1回 計:10回			Ⅰ:0回 Ⅱ:4回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し		
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知	
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無		
	百 里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	Ⅱ	岩国	無		
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	Ⅱ	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27.12.8(火)～12.11(金)	F-15×4機 約50人	Ⅰ	嘉手納	無		
	千 歳	H28.1.12(火)～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	Ⅱ	岩国	1名派遣		
	グアム	H28.2.1(月)～2.28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28.2.7(日)～2.28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28.3.7(月)～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:1回 三沢:1回 百里:1回 グアム:6回 小松:1回 築城:1回 新田原:1回 計:12回			Ⅰ:1回 Ⅱ:5回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
28	計	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H28.4.4通知	
	グアム	H28.7.19(火)～8.12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転	
	小松	H28.7.25(月)～7.29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無		
	グアム	H28.9.8(木)～9.23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H28.9.8(木)～9.27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	千歳	H28.12.5(月)～12.16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-15×12機 FA-18×8機 約700人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-16×14機 EA-18×6機 約440人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 三沢:0回 百里:0回 グアム:5回 計:7回	小松:1回 築城:0回 新田原:0回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:3回 岩国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣		

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成28年12月5日(月)～16日(金) 】

- H28. 11. 10(木) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
- H28. 11. 14(月) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催（北海道防衛局）、概略通知が示される
 - ・ 第23回苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
 - ・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔概略通知〕について）
 - ・ 概略通知を市議会議員へ公表
 - ・ 概略通知をホームページへ掲載
 - ・ 市長記者会見等（訓練実施予定）をフェイスブックで周知
- H28. 11. 15(火) ・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（町内会連合会、商工会議所、医師会等）
- H28. 11. 16(水) ・ 概略通知を市役所だよりへ掲載
- H28. 11. 22(火) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
- H28. 11. 24(木) ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会開催（総合政策部、環境衛生部、危機管理室）
- H28. 11. 28(月) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催（北海道防衛局）、詳細通知が示される
 - ・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔詳細通知〕について）
 - ・ 詳細通知を市議会議員へ公表
 - ・ 詳細通知をホームページへ掲載
 - ・ 市長記者会見等（詳細情報）をフェイスブックで周知
 - ・ 関係団体へ詳細通知を示し、訓練移転への協力依頼（町内会連合会、商工会議所、医師会等）
 - ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催（リサイクルプラザ苫小牧）
- H28. 11. 29(火) ・ 総合開発特別委員会開催
 - ・ 北海道防衛局より、戦闘機見学、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会開催案内
- H28. 11. 30(水) ・ 詳細通知を市役所だよりへ掲載
- H28. 12. 2(金) ・ 航路下三地区へ訓練計画概要の説明資料配布（植苗・美沢、沼ノ端、勇払）
 - ・ 航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
 - ・ 米軍の人員約20名千歳基地に到着（15:43到着、米軍輸送機）
 - ・ 米軍の人員約60名千歳基地に到着（16:33到着、米軍輸送機）
 - ・ 米軍輸送機が千歳基地を出発（16:45出発）
- H28. 12. 3(土) ・ 米軍の人員1名が千歳基地に到着（16:30到着、民航機）
- H28. 12. 4(日) ・ 米軍輸送機が千歳基地を出発（19:53出発）
- H28. 12. 5(月) ・ 戦闘機見学、米軍ブリーフィング、北海道防衛局による説明会開催
 - ・ 訓練移転開始をフェイスブックで周知
 - ・ 市職員1名、航空自衛隊千歳基地内へ派遣（～20日）
 - ・ 臨時測定局、騒音測定開始（～20日）
 - ・ 米軍の戦闘機AV-8B×3機・人員3名が千歳基地に到着（16:09着陸）
 - ・ 米軍の戦闘機AV-8B×1機・人員1名が千歳基地に到着（16:26着陸）
 - ・ 市長が臨時測定局を視察（沼ノ端南7号公園）

- H28. 12. 6(火) ・ 訓練の詳細情報をホームページに掲載（～16日）
- H28. 12. 7(水) ・ 8:54～10:24 米軍AV-8B×2機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
 ・ 13:36～15:11 米軍AV-8B×3機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
- H28. 12. 8(木) ・ 8:57～10:19 米軍AV-8B×3機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
 ・ 13:30～14:32 米軍AV-8B×1機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
- H28. 12. 12(月) ・ 13:26～14:44 米軍AV-8B×3機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
- H28. 12. 14(水) ・ 8:51～10:32 米軍AV-8B×2機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
 ・ 13:39～14:51 米軍AV-8B×1機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
 ・ 米軍輸送機が千歳基地に着陸（11:00着陸、物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地を離陸（12:28離陸、物資搬送のため）
- H28. 12. 15(木) ・ 8:52～10:06 米軍AV-8B×2機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
 ・ 13:34～14:40 米軍AV-8B×2機、自衛隊F-15×2機 日本海側で訓練
- H28. 12. 16(金) ・ 米軍の戦闘機AV-8B×1機・人員1名が岩国飛行場へ帰還（11:25離陸）
 ・ 米軍の戦闘機AV-8B×1機・人員1名が岩国飛行場へ帰還（12:20離陸）
 ・ 市長記者会見（訓練移転終了について）
- H28. 12. 19(月) ・ 米軍輸送機が千歳基地に着陸（11:22着陸、人員・物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地を離陸（13:24離陸、人員約20名・物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地に着陸（14:21着陸、人員・物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地を離陸（15:42離陸、人員約50名・物資搬送のため）
- H28. 12. 20(火) ・ 米軍の戦闘機AV-8B×2機・人員2名が岩国飛行場へ帰還（14:41離陸）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地に着陸（09:20着陸、物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地を離陸（10:24離陸、物資搬送のため）
- H28. 12. 21(水) ・ 訓練移転終了をフェイスブックで周知
- H28. 12. 22(木) ・ 米軍輸送機が千歳基地に着陸（09:34着陸、人員・物資搬送のため）
 ・ 米軍輸送機が千歳基地を離陸（11:01離陸、人員約10名・物資搬送のため）
 ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所（12:00閉所）
 ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所をホームページへ掲載
 ・ 関係団体へ訓練移転終了について報告（町内会連合会、商工会議所、医師会、警察等）
- H28. 12. 24(土) ・ 訓練移転終了を市役所だよりへ掲載
- H28. 12. 27(火) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催（北海道防衛局）
 ・ 第24回苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催（訓練結果（中間）報告）
 ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議専門部会開催
 （総合政策部、環境衛生部、危機管理室）

平成28年11月14日

北海道防衛局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において12月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以 上

平成28年11月14日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- ① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

- ② 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

《回答》①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練や、訓練空域、飛行経路、飛行方法などについて、米軍機は、航空自衛隊と同様の態様となります。協定についても、平成19年1月26日に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認経過を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。

また、米軍帰還の際の深夜・早朝の飛行につきましては、米軍の運用上の理由により、事情やむをえず実施する場合がありますが、極力そのようなことが生じないよう米側にも求めてまいりたいと考えております。

- ③ 米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

《回答》米軍人の外出時等における局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、これまでと同様、当局からも米軍に申し入れを行います。

- ④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

《回答》訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様、実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えております。

⑤ 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

《回答》日米を問わず、訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えております。

⑥ 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

《回答》現地説明会の実施については、本日のご要望を踏まえ、しかるべく検討したいと考えております。

また、米側によるブリーフィングの実施及び戦闘機の見学についてですが、米側へしかるべく伝えたいと考えております。

関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したいと考えています。

⑦ 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。

《回答》訓練終了後において、訓練の状況及び騒音測定結果についての「検証」につきましては、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えております。

●苦小牧市の個別要望

① これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、目に見える形で検証すること。

《回答》米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土への訓練移転を開始しました。また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。

これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまで国内で44回、グアム等で31回となり合計で75回実施しており、今回の千歳で76回目となります。

これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対する騒音

の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

なお、一例を申し上げれば、グアム等への訓練移転（国内除く）の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音値等を比較したところ、

(1) 嘉手納飛行場内の滑走路端の平均WECPNL値

(滑走路東側)

平成22年度：96.6W

グアム等への訓練移転の実施期間中（平成23年度～平成27年度）：92.5W

(滑走路西側)

平成22年度：93.0W

グアム等への訓練移転の実施期間中（平成23年度～平成27年度）：89.7W

(2) 嘉手納飛行場周辺において目視により確認した1日当たりの平均離着陸等回数

平成22年度：123回

グアム等への訓練移転の実施期間中（平成23年度～平成27年度）：109回

となっています。当局としては今後ともどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも相談しながら検討してまいりたい。

② 戦闘機や輸送機の事故が頻発しており、住民は安全面で非常に不安を抱えていることから、機体点検等を徹底し、安全確保に努めるとともに、発生した事故の原因及び今後の対策について速やかに情報提供を行うこと。

《回答》日米を問わず、訓練に参加する航空機については、平素より定期整備、飛行前、飛行後点検等を適正に実施し、安全の確保に努めていると承知している。

当局としては、訓練移転の実施に際し、航空機の安全確保については当然のことと認識しており、引き続き米軍側に求めていく所存である。

なお、他基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苫小牧市を含む関係自治体に提供できるよう努力してまいりたい。

③ 12月上旬から訓練移転を予定されているが、苫小牧市議会と重複が予想されるため、日程変更等の調整をしていただけませんか。

《回答》千歳基地における訓練スケジュールについて日米間で調整しているところから、本日、御要望がありました内容については、本省にお伝えします。

平成28年11月28日
防 衛 省

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練
計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は76回目（国内45回、グアム等31回）となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編実施のための日米のロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 期 間：平成28年12月5日（月）～12月16日（金）
- 参 加 部 隊：〔米軍〕
 - 第12海兵航空群（岩国）
 - 〔航空自衛隊〕
 - 第2航空団（千歳）、北部航空警戒管制団（三沢）
- 使 用 基 地：千歳基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参 加 規 模：タイプⅡ
 - 〔米軍〕
 - AV-8B×4機程度、人員90名程度
 - ※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
 - 〔航空自衛隊〕
 - F-15×4機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

平成28年11月28日開催の「米軍再編に係る千歳基地への 訓練移転に関する連絡協議会」での要請・質問事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

連絡会議として、重ねてのお願いとなるが、安全確保や情報公開など、先の要請事項について、再度お願いします。

《回答》

現地説明会の実施につきましては、先日のご要請を踏まえ、12月5日(月)に実施することとしており、本日、実施のご案内を担当者からご連絡させていただきます。

米側によるブリーフィングの実施及び戦闘機の見学につきましては、連絡会議からのご要請を米側へ伝え、現在、米軍内部で調整しており、回答が得られ次第、ご連絡させていただきます。

続きまして、連絡会議の代表として北海道からご要請のありました7項目のうち、前述に係る要請を除く6項目についての再度の要請につきましては、先般(11月14日(月))の連絡協議会において、お答えさせていただきましたとおりです。

繰り返しになりますが、訓練移転の協定を遵守するとともに、航空機の更なる安全確保及び米軍人の規律の保持について、改めて当局から米軍に申し入れを行うこと、米軍と調整し可能な限りの情報提供に努めるなど、これまでと同様、周辺住民の安心・安全のために最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えております。

●苫小牧市の個別要望

協定等の遵守のほか、機体点検の徹底、訓練の安全管理、米軍人の規律の維持などについて、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いしたい。

《回答》

苫小牧市からのご要望も、連絡会議の7項目に関わることでありますので、北海道への回答をもってかえさせていただきます。

●苦小牧市の質問事項

- ① タイプⅡ訓練ということで、土日を挟む日程となることから、米軍人の外出等が予想されますが、外出等の対応について情報提供をいただけるのか。

《回答》

米軍人の外出等の対応については、必要に応じて米軍人の案内（サポート）、通訳の支援、また、千歳市内の定期的な巡回等を行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

- ② 岩国基地のAV-8Bが訓練に参加するとのことですが、新聞報道等では、9月に沖縄で墜落事故を起こしている情報もあることから、安全確保に万全を期していただくとともに、事故原因や今後の対策などについて、情報提供いただきたい。

《回答》

米海兵隊岩国基地所属AV-8ハリアーの沖縄東方沖での墜落事故については、米側としても、事故発生以来、安全を最大限に確保するため、

①航空機部隊の隊員、整備員に対する徹底的な確認

②航空機の安全・技術等に関する手順の検証

③日本国内に駐留するすべてのAV-8ハリアーの徹底的な調査

など、できる限りの措置を講じた結果、安全に飛行を行う態勢が整ったと判断し、飛行再開することとしたと承知しております。

防衛省としては、米側に対し、これらの措置についてより詳細な情報を求めたところ、安全確認のために実施したすべての点検作業を列挙したリストの提供を受けました。このリストの各措置の一つ一つについて、米側に目的や実施方法の確認を行い、把握できた安全確認の内容を取りまとめたと聞いております。

また、米側による安全確認の内容については、防衛省・自衛隊における専門的知見も活用して評価を行った結果として、一定の妥当性を確認したところであり、飛行再開に関する今般の米側の判断は一定程度理解できるものと考えています。

当局としては、今回の訓練移転の実施に際し、改めて航空機の安全確保について、米側に強く求めてまいりたいと考えております。

また、防衛省として米側に対し、事故原因の究明と万全な安全対策を求めており、更なる情報が得られ次第、関係自治体に対し、連絡を行ってまいります。

なお、嘉手納飛行場において、10月7日（金）からAV-8Bハリヤーが飛行再開された以降、現在まで2か月程度経過しており、米軍は安全を確保した上で飛行していると承知しております。

● 11月14日の連絡協議会における苫小牧市の個別要望

- ・ 12月上旬から訓練移転を予定されているが、苫小牧市議会と重複が予想されるため、日程変更等の調整をしていただけないか。

《回答》

今回の訓練移転実施期間の一部が苫小牧市市議会日程と重複することとなりましたが、訓練日程については、日米それぞれの訓練スケジュール等を考慮して、日米間で調整の上、決定されることをご理解とご協力お願いいたします。

苫小牧市より 植苗・美沢地区 にお住まいの方へ お知らせです

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への 訓練移転(共同訓練)について

防衛省より訓練計画概要について下記のとおり通知がありましたので
お知らせします。

- 期 間：平成28年12月5日(月)～16日(金)
(ただし、土曜日及び日曜日は、訓練を行わない。)
- 参加部隊：[米軍]
第12海兵航空群(岩国)
[航空自衛隊]
第2航空団(千歳)、北部航空警戒管制団(三沢)
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプⅡ
[米軍]
AV-8B×4機程度、人員90名程度
※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
[航空自衛隊]
F-15×4機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

お問い合わせ先

苫小牧市役所

総合政策部まちづくり推進室空港政策課

【電話】

代表 32-6111 内線2853

直通 32-6083

苫小牧市より 沼ノ端・勇払地区 にお住まいの方へ お知らせです

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への 訓練移転(共同訓練)について

防衛省より訓練計画概要について下記のとおり通知がありましたので
お知らせします。

- 期 間：平成28年12月5日（月）～16日（金）
（ただし、土曜日及び日曜日は、訓練を行わない。）
- 参加部隊：[米軍]
第12海兵航空群（岩国）
[航空自衛隊]
第2航空団（千歳）、北部航空警戒管制団（三沢）
- 使用基地：千歳基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプⅡ
[米軍]
AV-8B×4機程度、人員90名程度
※人員、物資輸送のため輸送機の飛来もあり得る。
[航空自衛隊]
F-15×4機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

お問い合わせ先

苫小牧市役所

総合政策部まちづくり推進室空港政策課

【電話】

代表 32-6111 内線2853

直通 32-6083

**米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
米軍ブリーフィング・北海道防衛局による説明会質疑応答**

●米軍ブリーフィング

【苫小牧市副市長 佐々木昭彦】

先ほど隊長さんも、この訓練の意義を沖縄の負担軽減とおっしゃっており、具体的に数値は下がっているという説明を受けました。

- ・隊長さんが考えている負担軽減ということの意義を教えてください。

〈回答〉

- ・沖縄にはいろいろ負担がかかっているが、このATRプログラムを行うことによって、こちらで行う分、沖縄の負担が軽減されていると認識している。

【苫小牧市議 渡辺満】

- ・千歳基地で訓練を行うことで、沖縄の負担が軽減されているという説明があったが、千歳基地に来ることで沖縄に外来機が非常に多く増えているということに対しての見解を。

〈回答〉

- ・この訓練の目的とは、相互運用性の向上を図るために訓練を行っており、他の外来機、航空機が沖縄の方に飛来しているということは承知していない。

【苫小牧市議 工藤良一】

- ・9月22日に嘉手納所属のハリヤー同型機が墜落したという報道があった。ハリヤーに対し非常に心配をされており、事故原因を明らかにしていただきたいが、お考えをお聞きしたい。

〈回答〉

- ・我々にとって、航空機の安全性というのが最も重要な優先事項である。
- ・今回の訓練を陸の上空で行うというのは、考えていない。
- ・今、専門家を集めて今回の事故について4つの究明調査を行っているところ

であり、現在のところ2つの調査が終わったと承知している。

- ・もちろん千歳市、苫小牧市、北海道の方々の安全性を非常に重視しており、さらにはパイロット達の気運を維持するため、十分に注意を払っている。
- ・最後に一つ約束するのは、今回の訓練に関しては、あらゆる安全性を確保するために、あらゆる手段をとる意向である。

【苫小牧市議 西野茂樹】

- ・2つの調査が終わったという経過はわかったが、なぜ墜落事故は起きたのかわからない。いつ事故原因が明らかになるのか。

〈回答〉

- ・今の段階ではいつというのは明確に言えない。
- ・調査が完了し情報が出せるようになったら、当然、日本側にも提供する。調査は続いている状況だということをご理解願いたい。

●北海道防衛局による説明会

【苫小牧市議 渡辺満】

- ①沖縄の負担軽減について、目に見える検証の数字として最終的に14回減少したと示されているが、嘉手納の基地は本当に正しく減少していると言い切れるか。

〈回答〉 北海道防衛局

- ・自衛隊とか米軍の飛行場については、その日によって差があるので、通常これくらいと推計するのはなかなか難しいが、これについては毎年同じ様な考え方でデータを積み重ねていくしかないと思っている。

- ②先ほど、沖縄への外来機が増加している問題を言いました。防衛省として、本当に負担軽減というものが、訓練移転をこれだけやったから減少という側面だけで捉えているのか。

〈回答〉 北海道防衛局

- ・ 外来機については、防衛省としても、訓練移転中に嘉手納から航空機がいなくなったときを狙ったように外来機を持ってきて、訓練するようなことはやめてほしいと、いろいろな機会では伝えている。

③外来機が増えていることは認めるのか。

〈回答〉 北海道防衛局

- ・ 米軍とか自衛隊の訓練は、その日によって飛行回数とか全然変わってくるので、これが標準というのではない。
- ・ 元々訓練移転する予定だから普段飛んでいない航空機が展開しているのか、その前からその予定だったのかはわからない。

【苫小牧市議 小野寺幸恵】

①文書であげている質問項目に対し、文書での回答を要請しているが応えてくれない。もっと誠意ある対応をしていただきたい。

〈回答〉 北海道防衛局

- ・ 米軍のブリーフィングや当局の説明に関して、準備をしてしっかり応える必要があることから、事前に質問を提出していただいているところである。
- ・ 現地での説明会を開催して、出来る限り丁寧かつ誠意を持って対応したいと考えている。

②文書で回答いただけると受け止めていいか。

〈回答〉 北海道防衛局

- ・ 文書で回答というよりは、このような現地での説明会を開催し、出来る限り会って話が出来るような形がよいと考えておりますのでご理解願いたい。

【苫小牧市議 富岡隆】

①資料の最後にある再編交付金は、今年が最終年度にあたり、この訓練移転の考え方についてお聞きしたい。また、米軍との協定書、この有効期限は今年度で終わりと認識していいのか。

〈回答〉北海道防衛局

- ・今後とも沖縄の負担軽減は進めていく必要があるため、訓練移転については積み重ねていくことが必要と考える。
- ・再編交付金については、今年度で失効するが、訓練移転の継続による移転先の地元への影響に対する適切な措置のあり方については、現在、本省において検討しているところである。
- ・協定書については、千歳基地への訓練移転の実施に関し、北海道防衛局、千歳市及び苫小牧市と提携したもので、訓練移転の実施にあたっては、引き続き協定書に遵守し適切に対応していく。

②市街地上空の飛行コースのチェックはしているのか。

〈回答〉第2航空団

- ・千歳基地における訓練移転の実施にあたり、土曜日、日曜日及び早朝深夜における訓練空域、飛行経路、飛行方法は、米軍機の運行についても、航空自衛隊と同様の対応とするよう、2空団側からも飛行前にブリーフィングを行って米軍操縦者に対し徹底することを考えている。

③通常の民間航空機の飛行時間、あるいは通常コースが把握しているのか。

〈回答〉第2航空団

- ・この周辺については、民間航空機が非常にたくさん飛んでいる関係上、自衛隊機についても同じ管制で受けており、全て管制の指示において飛んでいることをご理解いただきたい。

千歳基地への訓練移転（共同訓練）について

平成28年12月5日（月）



北海道防衛局

目 次

- 1 在日米軍再編に係る訓練移転
- 2 今回の訓練（共同訓練）計画の概要
- 3 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置
 - (1) 現地連絡本部の編成
 - (2) 現地連絡本部の業務
- 4 これまでの訓練移転の実績
- 5 第1回、第2回連絡協議会での要請等に
対する回答

1 在日米軍再編に係る訓練移転

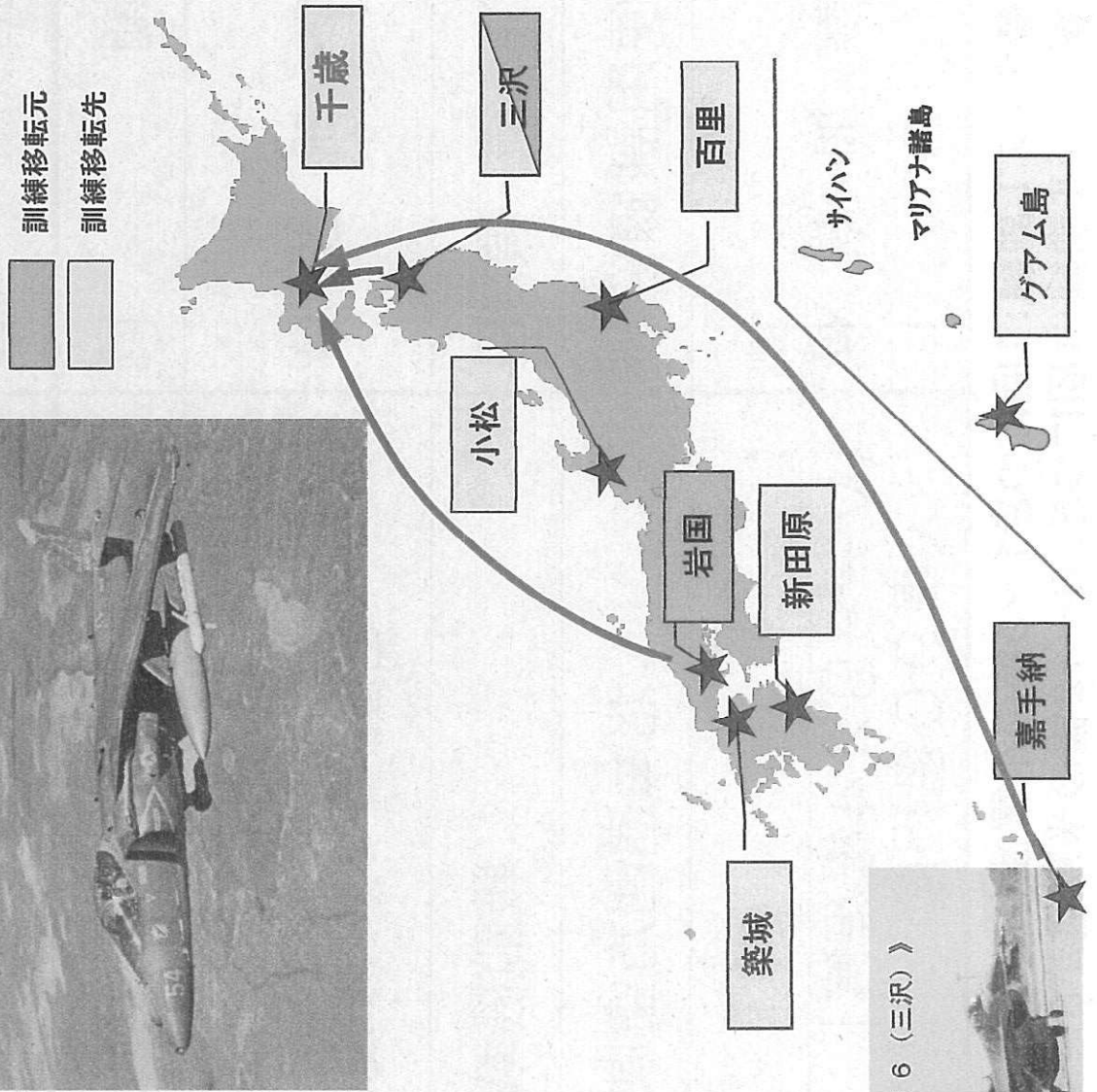
訓練移転の経緯

●再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月1日）に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

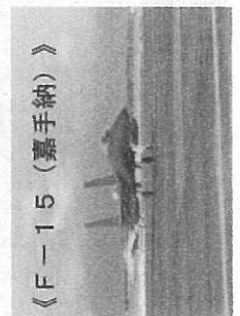
●また、平成22年5月の「2+2」共同発表に基づき、平成23年1月、日米合同委員会において、移転先として新たに Guam 等への拡充について合意された。同年10月、日米合同委員会において、訓練実施場所などの詳細について合意された後、初めて Guam などの訓練移転が行われ、その後も実績を重ねている。さらに、平成26年3月、三沢対地射爆撃場を追加することについて日米合同委員会合意。



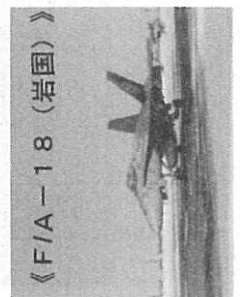
《AV-8Bハリアー（岩国）》



《F-16（三沢）》



《F-15（嘉手納）》



《F/A-18（岩国）》

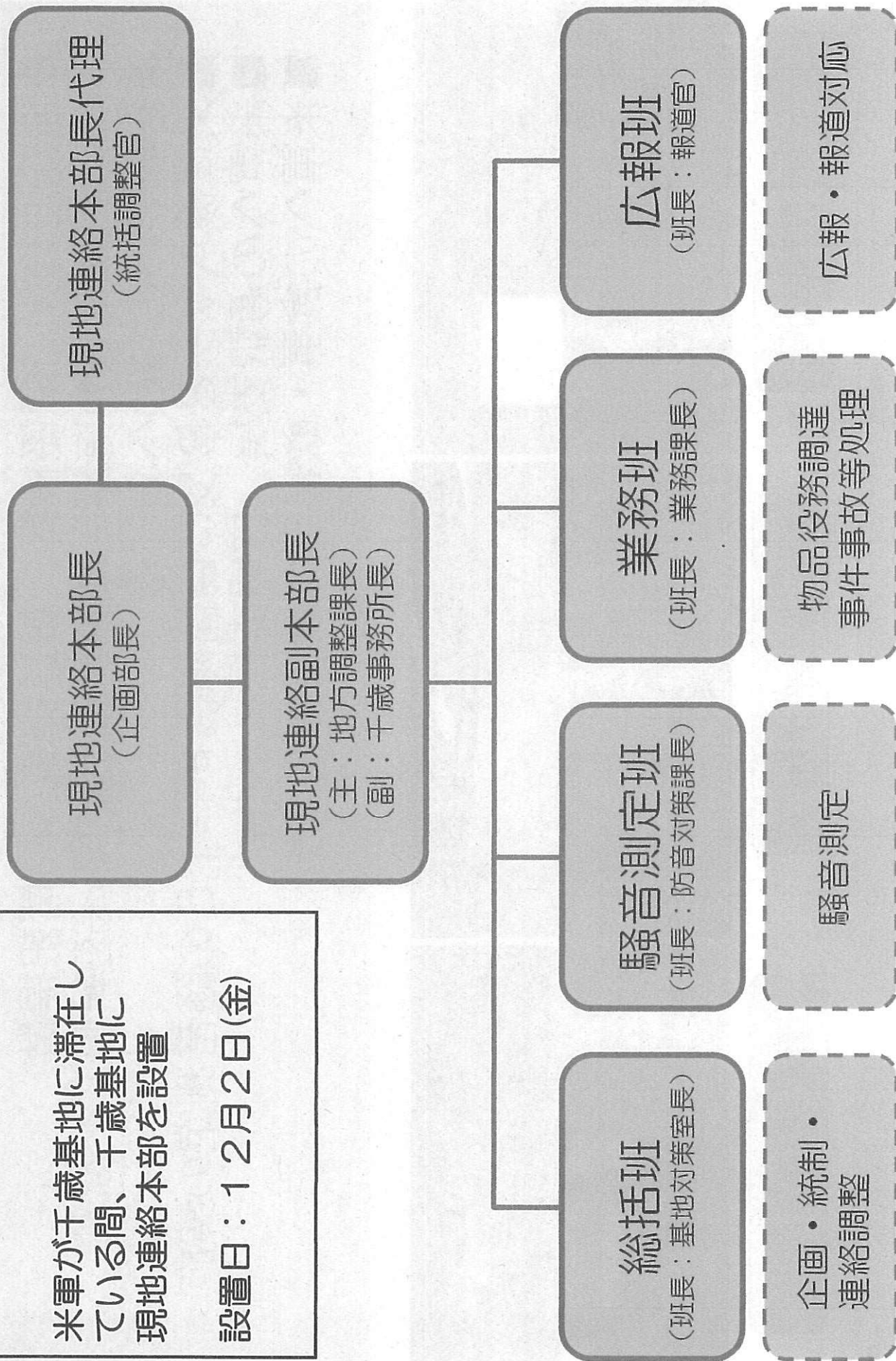
2 今回の訓練（共同訓練）計画の概要

項目	米軍	航空自衛隊
期間	平成28年12月5日(月)～16日(金)〔12日間〕	
参加部隊	第12海兵航空群 (岩国)	第2航空団(千歳) 北部航空警戒管制団(三沢)
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
使用訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模	タイプII訓練	
	AV-8B×4機程度 人員90名程度	F-15×4機程度

- タイプI訓練:1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練
- タイプII訓練:1回につき、6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練

3 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置— (1) 現地連絡本部の編成

米軍が千歳基地に滞在している間、千歳基地に現地連絡本部を設置
設置日：12月2日(金)

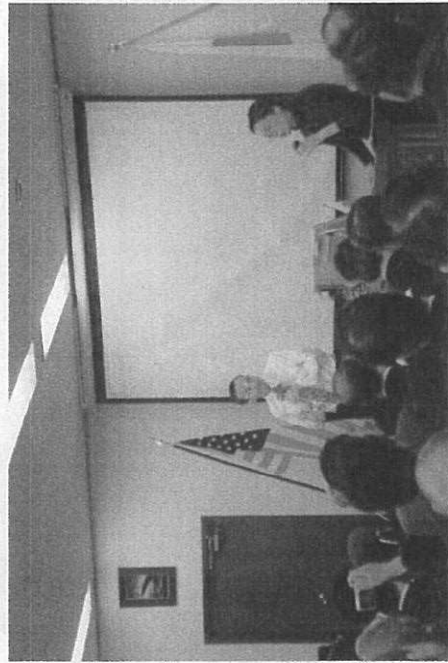


3 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(2) 現地連絡本部の業務

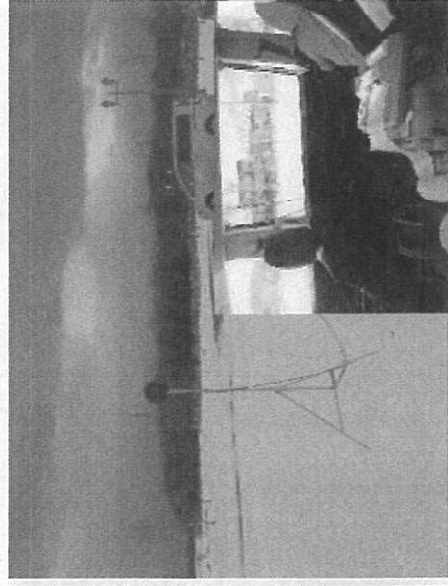
- 地元自治体、関係機関、報道機関への情報提供
（訓練実施の有無）（騒音測定結果（速報値））など
- 各種問い合わせへの対応
- 米軍機AV-8B及び自衛隊機F-15の騒音測定の実施
- 米軍への通訳支援、広報支援
- 米軍への食事・飲料水の調達等の支援



現地説明会実施状況



米軍ブリーフィング実施状況



騒音測定実施状況

4 これまでの訓練移転の実績

年 度	国 内	国 外	千歳基地での訓練
平成18年度	1回	—	実施せず
平成19年度	8回	—	2月実施 4日間 タイプI 岩国飛行場 FA-18×4機
平成20年度	5回	—	12月実施 5日間 タイプI 嘉手納飛行場 F-15×5機
平成21年度	8回	—	4月実施 4日間 タイプI 岩国飛行場 FA-18×5機
平成22年度	4回	—	11月実施 12日間 タイプII 嘉手納飛行場 F-15×12機
平成23年度	2回	3回	実施せず
平成24年度	2回	5回	9月実施 3日間 タイプI 岩国飛行場 FA-18×4機
平成25年度	3回	7回	7月実施 5日間 タイプII 三沢飛行場 F-16×6機
平成26年度	4回	6回	実施せず
平成27年度	6回	6回	1月実施 11日間 タイプII 岩国飛行場 FA-18×5機
平成28年度	2回	4回	12月実施 12日間 タイプII 岩国飛行場 AV-8B×4機
計	45回	31回	千歳基地での訓練は、 今回で8回目となる